



アンビシャス



パーキンソン病になって
気づいた幸福!

表紙は語る

「パーキンソン病」

アンビシャス通信

6月の報告あれこれ

こころの現場から

つぶやきチャンプルー

シリーズ 第40回

『患者学』 加藤 眞二教授

アンビシャス広場

エッセイ 浦崎 綾乃さん

難病短歌・川柳

お勧め映画情報

占い

沖縄県難病団体の掲示板

団体定例会・交流会スケジュール

患者団体からのおたより

沖縄県内難病患者団体一覧

編集後記

アンビシャスメモ

保健所からのご案内

『難病とのつきあい方

』こころとからだのセルフ・コントロール

参加者募集のご案内

難病短歌・難病川柳 大募集!

表紙は語る 木場 恵美子(きば えみこ)さん パーキンソン病

パーキンソン病になって気づいた幸福!



かわいい孫と。孫の成長が私の元気の源。

私が車の運転をやめ歩き始めてから4年近く経ちました。家から20分程の職場まで、晴れの日には日傘にサングラス、タオルを首に巻き、雨の日には雨傘、レインコートで、まだ自分の足で歩けることに感謝し、空や風や花や周りの景色を楽しみながら歩数計と時計を見て体調が分析できるようにになりました。

思うように足が進まない日もあり、自分でも歩くのが苦痛になる日もありましたが、歩く事がリハビリ、自主トレと明るく思い直してから楽しく歩けるようになったかもしれない。暑い真夏の日も、また土砂降りの雨の日も頑張れた自分を自分で誉めています。

私は2003年1月に神戸から宮古島市へ移住して来ました。私54歳、母76歳でした。自動車免許を取得し、接客や歌うのが好きな私にピタシの観光バスガイドの職に就きました。海外生活の経験を活かし、外国からの観光客をもてなす機会にも恵まれ、宮古島の歴史や自然、文化等たくさんの事を学びながら楽しい日々を過ごしました。

ところが2011年頃、母の認知症が進み介護の為バス会社を辞めることになりました。退職後はパソコン教室に通い、保育園で英語を教える生活の変化からか体に異変が起きました。転びやすくなり、皆より歩く速度が遅くなったり、車のドアが開けづらく、体操教室でも出来ない動きがたくさんあって、最初は最近中高年の間で増えているロコモ症かな?位に思っていたのですが、アメリカに住んでいる娘が、久しぶりに会った私の歩き方が変な事や私の表情が硬くなっている事に驚き、直ぐに診察に行くよう強く勧められました。

2012年、宮古島市内にある神経内科の診療所で診てもらい、更に本島の専門病院に3週間、検査入院した結果、パーキンソン病と診断されました。ショックでしたが、入院中にもっと重い病気で苦しんでいる患者さんとの出会いや、私と同じパーキンソン病だった伯母が、好きな洋裁や旅行、ショッピングにも出かけていた姿を思い出し、かえって病気に親しみが持てました。

マスクフェイスという笑顔が消えていく症状と知り、笑うヨガ教室に通ったり、筋肉のこわばりを防ぐ為、空き時間を見つけてはストレッチに重点を置いたジムにも通っています。薬の調整が上手くいっているせいか、



リハビリを兼ね歩いて出勤。

まだ私がパーキンソン病だとは知らない友人・知人もいます。

朝2時間、コンドミニウム・マンションの管理人の仕事をした後、午後から2時間、保育園で英語を教えています。

この病気になつてから健康な人なら簡単で、何でもない事が、出来なくなつてきています。ペットボトルのふたを開けたり、果物や野菜を切ったり、皮をむく事、洋服の着脱、洗濯物を干したり、たんだりする事、旅行用のスーツケースを運ぶ事、レジで財布からお金を取り出す時間がかかる事、爪切りや、マニキュアが上手く出来なくなつたり、手首や指のしびれと硬直もあり、夜はヨダレが出て枕を濡らしたり、箸も上手く使えません。

健康な人にはとても想像がつかない、些細な事が出来ず鬱になりそうでしたが、3年前に孫娘ができてからは、孫の成長を見届けるのが楽

しみで、元気なお婆ちゃんではないと思えます。

去年、娘の招きでアメリカへ行つてきた時は、恥ずかしながら航空会社が提供する体の不自由な人の為のサポート・サービスをお願いしました。宮古から那覇、成田、ボストンと出発ロビーから到着するまで多くのスタッフに助けられ、お蔭様で快適な旅になりました。自分で出来ない事は近くに居る人に勇気を出して「手伝ってください」というのも恥ずかしい事では無いんだと教えられました。

病気による死の恐れが無いとは断言できませんが、教会に通つていて「神様はいつも貴方と共にられる」という御言葉に励まされています。

私が病気になつて気づかされた沢山の事は、病気≠不幸ではないのです。全ての事に感謝し喜びながら「自分出来る事で人の役に立つ事は無いかな」と探しながら一日一日を大切に生きたいと思えます。

91歳になつた認知症の母を毎日介護しながら仕事を続けられる奇跡。多くの人に支えられ本当にありがとうございます。アンビシャスの記事を読みながら、病気に負けず生き生きと生きている方の事を知り、私も勇気が出ました。

年に数回バスガイドを頼まれる事があります。ギネスブックに挑戦す

るつもりで、忘れかけた記憶をたどりながら楽しんで案内しています。歩ける限り歩き続けたいと願っています。昔弾いていたギターを弾こうと、最近ギター教室に通ったり、カラオケや歌を歌い、会話を楽しんでいきます。口を大きく開けることは体に良いそうです。

薬が切れると口や体が硬直し固まってきました。言葉も呂律が回らず、言いたいことが相手に伝わりにくく、寒い日は尚更です。こんな時は温かい風呂に入るのも効果的です。同じパーキンソン病の友人と会い、お互いの症状を話し合ったり、自分が試して良かった方法や本などの情報交換等もとても役に立ちます。同じパーキンソン病でも皆少しずつ症状が異なるようです。

巷には沢山の書籍も売り出されています。自分に合った治し方であせらず、ストレスを溜めず、自分を追い込まない。自分を愛する事を続けていきたいです。

若くて元気な頃は何も恐れるものは無く、会う人も地位や肩書、外見で判断する高慢な私でした。思い出すのも恥かしいほど最低な私でした。人はどの人にも価値があり、その人の生まれた使命があると、最近になりやつと気づきました。私は私の使命を死ぬまでに果たそう。私は私らしく私の道を歩んで行くと思います。

語りプロフィール

木場 恵美子 (きば えみこ) さん

1949年 東京生まれ
2003年より宮古島在住

【趣味】

おいしいお店や景色のよい場所を見つけること。旅行

【最近の楽しみ】

ラインで送られてくるアメリカの孫の動画を見て元気をもらうこと

【挑戦したいこと】

フォークソングを弾き語りで歌うこと。
保育士試験に合格すること。

例え険しい道でも、少しずつ前を向いて歩こう。生かされている今日一日を感謝しながら。病気にならなかつたら私は変わらなかつたかも知れません。人間の弱さも、老いる事も受け入れられる私になれて嬉しいです。パーキンソンありがとう。

毎日、認知症の母を世話するのは大変な労力が入りますが、もし母が側に居なかつたら、私はもつと病気に甘えていたかもしれません。

最近、保育の勉強をしたいと思いい通院している診療所の主治医に相談したら「貴女が何かをやりたいと外に向かつて行動することが、この病気には一番必要だよ、頑張つてね」と励ましてくださいました。

Be Ambitious 大志を抱けですね。夢を捨てないことが、生きる活力なのかもしれません。

6月の報告

あれこれ



セカンドオピニオン

2018年度
(循環器系疾患)

今年度、最初のセカンドオピニオンを6月24日、琉球大学附属病院の新里朋子先生のご協力を頂き、循環器系疾患の患者・家族の方のご相談をお受けしました。

「ペースメーカーを入れた方が」と医師から言われているが、メリット・デメリットを教える欲しい。「日常生活で気をつけなければならぬことはあるか？ 飲酒はしても良いのか？」「運動は良いと言われたが、どのような運動をしたら良いのか？」といったご相談がありました。実際に自宅で出来る軽いストレッチも教えて頂くことが出来ました。なかなか外来受診の際にはゆつくりとお話しをするのは難しいと思いますが、セカンドオピニオンで不安や疑問に感じていることをお聞きすることが出来たのではないかと思います。

います。新里先生、ありがとうございました。

今後は、膠原病系・消化器系・肝臓系・腎臓系・下垂体系・神経系のセカンドオピニオンを計画しています。各疾患群とも一人30分、4名迄です。前記疾患群に該当の方でご希望の方は、当紙での案内やホームページ、各保健所の掲示板等でご案内いたしますのでお見逃しのないようお願いいたします。



保健師向け、災害・

コミュニケーション

支援研修会

今年度、新たに難病担当になった保健師を中心に重症難病療養者の「災害対策・コミュニケーション支援」についての研修会を6月27日に南部保健所で実施しました。同研修会は毎年実施していますが、今年度は講師の都合により平成31年1月を予定しているため、台風が多くなるこの時期、災害時対応策の研修が必要との声を受け、急ぎよ開催しました。

当日は指定難病の更新前でご多忙にもかかわらず、20名の保健師が参加してくださいました。

研修会では、災害対策の概要の説明の後、文字盤・口文字によるコミュニケーション方法や、意思伝達装置の実演等、実際に機器に触れ、体験して頂くことを重点に行いました。今年は例年になく台風の発生が早く、また発生件数も多くなる事が予想されます。台風以外にも全国的には地震や土砂災害等頻発しており、いつ・どこで災害に巻き込まれるか分からない

いので、日々の備えが大切になってきます。

この研修会を通して学んだ台風等による停電時の対応策や、コミュニケーション支援のノウハウ等それぞれの相談現場で活かしていただければ幸いです。



こころの現場から

すべての人たちが
生きやすくなるためには

人は多種多様の苦悩や問題を抱えています。もちろん身体疾患や難病を抱えて生きることはそれだけではないへんなものです。しかし、社会には様々な人がいます。難病を抱えて生きる人が配慮されない状況も少なからずあります。「自分たちはこんなたいへんなのだから、配慮してくれてもいいじゃないか!」「もつと支援をしてくれてもいいじゃないか!」と叫び、怒りをぶつけたくなること、理不尽を嘆きたくなることもあるでしょう。

それはもつともな意見です。わたしももちろん理解しているつもりです。しかし、世の中には様々な考え方の人がいて、その人自身が抱えている苦悩や問題の種類によっては、「自分の方がたいへんなんだ」「もう十分に助けてもらっているでしょ。こつちの方を支援してもらいたくないだ」という意見もあることもまた事実です。

わたしたちはその事実に対して、反発・非難する必要はありませんし、しない方がいいです。「助けてもらえることが当たり前」

「支援を受けることは当然の権利である」と、こころのどこかで思う部分があると、難病以外の他の種類の悲哀辛苦を抱えて生きていく人の反感をかき、言葉には出さない反発を生むのです。

どのような質・量の悲哀辛苦を抱えていたとしても、「生きていくのだから辛いこともある、…しかし嬉しいこと楽しいこともある」と思えるこころの強さをもつと、自然と様々な人と円満な関係を構築できる可能性が広がるのです。そしてそのことが、難病を抱えて生きる人がより生きやすい社会を創ることに繋がるのです。もちろん、そのような考え方を様々な人がすることが、どのような状況下の人にも優しい環境を創ることに繋がるのです。



臨床心理士 依里 鎌田 (かまだ)

つぶやきチャンネル 生命を守る仕事

今年はいよいよの花が沢山咲き台風の当たり年と言われますが、真偽のほどはともかく、今のところ発生件数が多いようです。

アンビシャスでは平成24年度より、難病を持ち、人工呼吸器で在宅療養されている方への非常時電源確保の為に「人工呼吸器用外部バッテリー等貸与事業」を沖縄県より受託。平成26年度からは小児慢性療養児の事業も受託し、昨年度までの累計で149件の支援を行っています。

難病で自ら呼吸が出来ず、人工呼吸器の補助で呼吸をしている方は、台風等で停電になると、即、生命の危機となります。緊急時は、ゴムバッグのような蘇生用具を手動で呼吸に合わせ空気を送り込んで生命を維持しなくてはなりません。

停電が数分、もしくは、数時間なら人工呼吸器の内蔵バッテリーで持ちこたえる事も出来ますが、長時間になると電気の切れ目が命の切れ目となってしまいます。

人工呼吸器は精密機器の為に純正の外部バッテリーが必要で、貸与事業ではそれを補います。また、外部バッテリーの充電を目的とした、発電機の貸与もあります。さらに、使用機器は酸素飽和度測定器や痰の吸引器など複数あり、携帯電話などの生活機器も全て電気が必要です。アンビシャスでは、貸与事業も含め緊急時の電源確保策について、出来る限りの支援を今後とも継続していきます。



著:照喜名 通



シリーズ「患者学」第40回

慶応義塾大学看護医療学部
教授 加藤 眞三

医療の歴史から新しい時代の医療を俯瞰する

その2

今回は、記録が残っている時代の医療から医療の社会性を考えてみたいと思います。

古代ギリシャでは

古代ギリシャの有名な歴史家ヘロドトスの書「歴史」には、次のように書かれているようです。

当時は医師がいないため、病人がでると家に置かず広場へ連れていった。通行人は病人に症状を訊ね、同じ経験があるとその治療法を教えた。誰でも広場で病人に、どういう病気を訊ねずに、知らぬ顔をして通り過ぎてはならぬことになっていった。

つまり、医療の智慧の集積がなく、個人の経験のレベルで留められていたようです。ただし、その個人の経験は社会に歓迎されなくてはならない仕組みとなっていたようです。

ヒポクラテスの時代に

現在の欧米の医療の源はヒポクラテスに求められます。ヒポクラテスは紀元前460年から370年頃の医師ですが、父親も祖父も医師という家に生まれ医学の智慧を学びます。ヒポクラテスは、患者の観察とその記録の作成を重んじました。その知識が集積されるからです。そして、厳格な職業意識をもち、弟子への厳しい教育でも有名でした。

患者へ危害を与えないこと、どんな家を訪れる時もその自由人と奴隷の相違を問わず、不正を犯さないこと、患者の秘密を厳守することなどをとった「ヒポクラテスの誓い」は、現在でも通用する医療の大事な価値観が含まれており、欧米の医学学校で卒業時に使われています。

一方で、現代の事情とは異なる

る面もあります。例えば、誓いは次のような項目で始まっています。

「この医术を教えてくれた師を
実の親のように敬い、自らの財産を分け与えて、必要ある時には助ける。師の子孫を自身の兄弟のように見て、彼らが学ばんとすれば報酬なしにこの術を教える。著作や講義その他あらゆる方法で、医术の知識を師や自らの息子、また、医の規則に則って誓約で結ばれている弟子達に分かち与え、それ以外の誰にも与えない。」

つまり、誓いは専門家集団内における教育による伝達と伝承を促すものではありませんが、同時に他の人には誰にも与えないという閉鎖性をもつものでもあったのです。現在では、医療の情報、社会全体あるいは人類の財産であり、公開することが求められています。情報の公開は、専門家の間だけでなく、一般市民にもアクセスできることが前提となっています。

また、「自身の能力と判断に従って、患者に利すると思う治療法を選択し、害と知る治療

法を決して選択しない。」と宣言するようになり、治療法を選択する主体が患者ではなく医師であることを明確に記しています。この当時の医療はパターナリズム（父権主義）の医療であり、親が子供のために良かれと思つてやること
が正解であるという医療であったのです。



加藤 眞三

1980年、慶応義塾大学医学部卒業。85年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。85-88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。都立広尾病院内科医長、慶応義塾大学医学部内科専任講師（消化器内科）を経て、現在、慶応義塾大学看護医療学部教授（慢性病態学、終末期病態学担当）。



患者の力：
患者学で見つけた医療の新しい姿
出版社：春秋社

「患者には力がある！」毎日を健康に生きるために、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なことは。

東洋経済オンラインに加藤先生による

「市民のための患者学」連載配信中！

<http://toyokeizai.net/articles/-/143366>

沖縄県内 難病患者団体 掲示板

2018年8月の各団体定例会・交流会スケジュール



団体名	日(曜日)	時間	場所
沖縄県網膜色素変性症協会	4日(土)	13:30~16:30	名護市港区公民館(アイフェスタin名護)
全国膠原病友の会・沖縄県支部	4日(土)	14:00~16:00	那覇市保健所 3階 (※4月より定例会を毎月第一土曜日へ変更)
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	8日(水)	19:00~21:00	那覇市保健所 3階 多目的室
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者・家族の会	11日(土)	14:00~16:00	八重山保健所
沖縄県網膜色素変性症協会	18日(土)	14:00~16:00	沖視協(沖縄県視覚障害者福祉協会) 那覇市松尾2丁目15番地29号
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	18日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会(中部地区)	21日(火)	19:00~21:00	沖縄市福祉文化プラザ
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	22日(水)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐくる館 参加希望の方は左記迄ご連絡をお願いします。

※詳細は左記患者団体連絡先へお問合せください。



患者団体からのおたより

日本ALS協会沖縄県支部 「第11回 沖縄県支部総会」のご報告

西日本地域の集中豪雨の被害に遭われました皆様にも心よりお見舞い申し上げます。今回の災害で避難された会員の方もいらつしゃるとのことでした。大変な状況ですが、早く元の生活に戻るように願っています。

第11回支部総会は、初参加の方、友人との再会、医療、福祉の支援者の皆様、本部理事2名のご参加、準備から片づけまでお手伝いいただいた学生ボランティア、アンビシャス、沖縄病院、多くの方に支えられ開催することができました。

フラダンスで潤い、あたたかな雰囲気にも包まれ、その後はALSをもつ会員さんから、療養がはじまり、漠然とした不安な日々から現在に至るまでの経過について、口文字で実演を兼ねた発表がありました。

口文字とは、文字盤を持たずに出来るコミュニケーションの技術です。お互いの習熟が必要ですが慣れると道具がなくてもどこでもできます。発表では、現在の生活を選択してよかったという言葉が印象的でした。やり方についての説明や実践も行いました。

沖縄県内難病患者団体一覧

団体名	代表者	連絡先
OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会	黒島	(黒島)070-5413-8350
脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 那覇・南部患者の会	井上 栄治	(井上)090-5937-5292
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会	宮本 勝也	(宮本)090-8413-2621 (上原)070-5819-4876 メール:k-mi-ya-18@docomo.ne.jp
全国膠原病友の会 沖縄県支部	阿波連のり子	(阿波連)090-1944-2441 メール:yuna@kougen-okinawa.jp.org
もやの会沖縄県ブロック	金城 忠英	(金城)080-2719-4650
全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部	又吉 忠常	(又吉) 090-8294-1974
日本ALS協会 沖縄県支部	中村 勉	(島田) 090-3418-7982
全国筋無力症友の会 沖縄県支部	上原 アイ子	(上原)090-7479-8841
沖縄県網膜色素変性症協会	長嶺 房子	北部部会(伊良波) 電話・Fax:0980-53-1262 中部部会(又吉) 電話:090-3797-4125 南部部会(譜久島) 電話:080-1766-2669 八重山部会(平良) 電話:090-5081-5622 宮古部会(伊良波) 電話:090-8294-6174
神経難病友の会八重山	黒島 里枝	(黒島)090-5470-7485
八重山クローン病・ 潰瘍性大腸炎患者 家族の集い	内間 洋子 村山 盛有	(内間)090-9784-8219 (村山)090-1179-6912
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	伊是名恵子	(伊是名)090-3792-0199
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	仲里 清彦	(仲里)090-8290-3569
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	下地 ヒロ子	(下地)090-5489-4109
とんがらの会(宮古神経難病・患者家族のつどい)	砂川 泰彦	(砂川)080-1536-9287
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 中部患者・家族会	仲西 智春	(仲西)090-9585-9259
沖縄サルコイドーシス友の会	祖堅 善樹	(祖堅)090-1941-5758 (仲榮眞)090-6856-9274

編集後記

西日本を襲った集中豪雨による被災に心を痛めている方が多いと思います。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。今年は台風も頻発しています。これ以上の被害が出ないことを切に願っています。

地震と違い台風の場合はある程度予測ができ、早めの対応策を取ることが可能です。もちろん想定外の事態はありますが、出来る限り早め、早めの対応を取ることが肝要かと思えます。お互いに十分に気を付けましょう。

さて今月の「表紙は語る」宮古島市にお住いの木場さんにご執筆を頂きました。認知症のお母様の介護をしながらの療養生活、今まで出来ていた些細なことが出来なくなることへの不安を、持ち前の明るさで跳ね返し、夢に向かっていく様子を語って頂きました。

ご苦労も多いかと思いますが、これまでの「表紙は語る」の記事に励まされたというご感想を頂き、スタッフ一同とても嬉しく、またその使命の重要性を再認識した次第です。今後もこの情報誌が途切れないよう、気を引き締めて紙面作りをして参ります。

文 仲村明



2018年 8月の各保健所からのご案内

【北部保健所】Tel:0980-52-2704
 【中部保健所】Tel:098-938-9883
 【南部保健所】Tel:098-889-6945
 【那覇市保健所】Tel:098-853-7962
 【宮古保健所】Tel:0980-72-8447
 【八重山保健所】Tel:0980-82-3241

8月の予定はございません。

『難病とのつきあい方～こころとからだのセルフ・コントロール～』 参加者募集のご案内

日程

【前期】平成31年1月26日(土) 13:30～16:30
 【中期】平成31年2月23日(土) 13:30～16:30
 【後期】平成31年3月23日(土) 13:30～16:30

【講師】臨床心理士 上田 幸彦 先生(沖縄国際大学 総合文化学部 教授)

【会場】アンビシャス(那覇市牧志3-24-29 グレイスハイム喜納2-1階)

【対象者】難病を抱えている本人で、3回とも参加できる方(※前・中・後期 3回で1セット)

内容:○ストレスがおよぼす心と身体への影響 ○病気の捉え方
 ○ストレス解消法 ○マインドフルネス瞑想法 など

定員:5名(先着順)

参加費:無料

申込先:アンビシャス tel/098-951-0567(平日:10:00～17:00)

※受講前10月頃および受講後のストレス度チェックがあります。また、講師より結果報告が無料でもらえます。

難病短歌・難病川柳 大募集!

難病短歌 31文字(5・7・5・7・7)
 難病川柳 17文字(5・7・5)

難病のある方やご家族の方から短歌・川柳を募集しています。

採用の方には寄稿料として**1,000円相当のクオカードを進呈**、難病情報誌「アンビシャス」上にてご紹介します。

難病短歌 31文字(5・7・5・7・7)

難病川柳 17文字(5・7・5) に載せてご応募ください

ご応募は

ホームページトップの「難病川柳・短歌(作品募集中!!)」より

<http://secure.iamdn.co.jp/www.ambitious.or.jp/senryu/>

電話、FAXにてのご応募も承ります。お気軽にご応募ください。

Tel/098-951-0567 Fax/098-951-0565

※住所・氏名は採用時クオカード送付のため記載をお願いします!

※掲載時はペンネームと疾患名のみの記載となります。

ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人 ●全保連株式会社 ●株式会社 アイアム ●株式会社 いなんせ典礼

毎月定期ご寄付の方々 ●驥尾の会 ●株式会社 ぽーしょん ●匿名2名

6月のご寄付 ●新田 幸子 ●Suprievie株式会社 ●匿名1名

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページにあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

6月のご支援・ご協力

●難病情報誌194号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々
指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さん

※千羽鶴ボランティアのみな様へ ※現在折鶴の在庫が多く、誠に勝手ながら暫らく折鶴の受け入れをご遠慮させていただきます。

募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

- フォーモストブルーシール北谷店 ●MISTY本店・美浜店 ●株式会社K.Turtles ●有限会社育英堂書房
- てだこボウル ●西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく ●花野原 ●株式会社照正組 ●三郎寿し
- ホテルまるき ●水のサンクス ●株式会社メガネ一番 ●株式会社琉薬 ●恒和ペイント株式会社
- さわやか歯科クリニック ●auショップ久茂地店 ●全保連株式会社 ●全保連コントロールセンター
- T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわ~ ●山城二輪 ●ギャラリーカフェ 海ばたー
- しゃしんやきんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
- 豚骨拉麺昇家 ●沖縄ちゃんぶるーネット(イオン那覇店1階) ●マヤMAYA ●沖縄宝島(イオン南風原店1階)
- 沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小禄サザン店 ●串焼き屋あだん ●上間菓子店 ●シャトル・ケア
- 社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●株式会社かりさら ●ジョッキハウス ●有限会社だいにちシール
- オリオンビール株式会社 ●メディケアセンター ●沖縄県栄養士会 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店
- 株式会社いなんせ典礼 ●2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ

法人賛助会員 順不同敬称略

- 全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●株式会社 アイアム ●弁護士法人 岡野法律事務所
- 株式会社クオサ ●医療法人かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社
- しゅくみね内科 ●有限会社太陽印刷 ●株式会社 メガネ一番 ●株式会社 名城 ●高良登記測量事務所
- オリオンビール株式会社 ●株式会社ざまみダンボール ●水のサンクス ●社団法人 沖縄県栄養士会
- 株式会社アクティブ ●株式会社 長堂材木店 ●株式会社アース ●プログレス ●有限会社 沖縄矢崎販売
- ふたば訪問看護ステーション ●株式会社 ぽーしょん ●テルモ株式会社 ●株式会社 舜 ●中部協同病院
- 南西医療器株式会社 ●株式会社いなんせ典礼 ●有限会社 麦飯石の水 ●訪問看護ステーションいのり
- 友愛会 訪問看護ステーション ●株式会社大成ホーム ●株式会社ケアコネクト ●たつや脳神経外科
- いくみ皮ふ科クリニック ●かなしる内科 ●首里城下町クリニック第一 ●首里城下町クリニック第二
- 外間眼科 ●西崎病院 ●岸本 外科リハビリクリニック ●大宮医院 ●きなクリニック ●しんざと内科
- 訪問看護ステーション みかん ●愛聖クリニック ●沖縄病院 ●稲福内科医院 ●伊佐内科クリニック
- 牧港眼科 ●訪問看護ステーションうんな ●こころクリニック ●嶺井第一病院 ●こばし内科クリニック
- 恩納クリニック ●南部徳洲会病院 ●城間クリニック ●長濱眼科 ●株式会社ケイオーパートナーズ
- なかむら内科おなかクリニック ●はいさいクリニック ●潮平病院 ●ハピネス訪問看護ステーション
- りゅうしん老人訪問看護ステーション ●すながわ内科クリニック ●外間眼科医院崇元寺 ●岸本外科医院
- いちょう内科あしとみ ●有限会社 タカラ

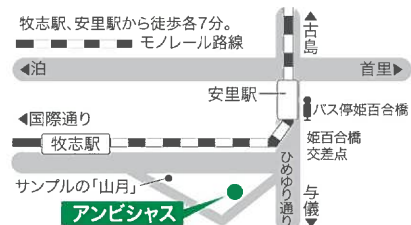
難病無料相談 (電話・来所・メール・FAX) 難病のこと、それに伴う不安や家庭・職場での悩みのご相談をお受けします。

☎098-951-0567 ✉info@ambitious.or.jp

平日10:00~17:00 (休:土日祝日・年末年始)

※ご相談内容・個人情報については「守秘義務」を厳守します。※面談ご希望の方は、事前にご予約ください。

アンビシャス 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)
Tel:098-951-0567(代表) http://www.ambitious.or.jp
発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人) 理事長: 迫 幸治



▶ 私たちは、沖縄県難病相談支援センターアンビシャスの活動を応援しています! ◀



Zenhoren

全保連株式会社 代表取締役 迫 幸治
〒900-0003 那覇市安謝2丁目2番5号 TEL.098-866-4901(代表)



RYUKYU GOLDEN KINGS
http://www.okinawa-basketball.jp
facebook:Ryukyu Golden Kings Official
TEL:098-897-7331 e-mail:customer@okinawa-basketball.jp

MARKX PRIUS AQUA ALPHARD Esquire


もっとクルマの断、しませんか。
Answer. for you. TOYOPEET

沖縄トヨペット

学問なき経験は、経験なき学問に勝る。

Answer. for you. TOYOPEET

複写機・OA機器リース、レンタル、
オフィス家具までトータル提案



株式会社クオサ
kuosa

本社:〒901-2201 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号 2F
Tel: 098-879-0162 Fax: 098-879-0198
北部営業所:〒905-0016 沖縄県名護市大東2丁目14番3号
Tel: 098-051-1600 Fax: 098-051-1601
宮古営業所:〒906-0014 沖縄県宮古島市平良松原534-6
Tel: 098-079-5751 Fax: 098-079-5752

ヴィクサーレ沖縄FCを応援しています。



とちかおくちょうさし

土地家屋調査士
伊波 学 098-897-1245

http://w1.nirai.ne.jp/mabu05/
e-mail:mabu05@nirai.ne.jp



Otsuka-people creating new products
for better health worldwide



Otsuka 大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

「沖縄指笛」製作スタッフ募集!

アンビシャスでは「沖縄指笛」の製作・販売の再開に向け陶器製商品の製作スタッフを募集しています。赤土粘土を使った軽作業で自宅で体調に合わせて気楽に製作できます。

募集人員:5名迄
ご応募:098-951-0567(担当)照喜名
詳細問合せなどお気軽にお電話ください。



みくに株式会社 糸数盛夫

【本社】沖縄県糸満市真栄里2021-10番地
【営業本部】沖縄県宜野湾市嘉数1丁目967番1

